

WG 活動報告

6. 慢性骨髄性白血病(CML)【成人】

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：大橋 一輝	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
長村 登紀子	東京大学医科学研究所附属病院	内科
川瀬 孝和	Fred Hutchinson CRC	
綿本 浩一	江南厚生病院	血液・腫瘍内科

② 2011年1月末時点で承認された研究(※承認後に内容変更等で、不受理となったものは除く)

研究課題名	Principal investigator

③ 会議開催記録

日時	場所	会議内容
2011/1/29	品川	小児 CML WG との合同打ち合わせ
		以降は適宜メールで意見交換

④ WG の今後の活動方針・抱負など

CMLWGは小児・成人と分かれています。話し合いの結果、TRUMP 追加項目の申請等は共同で提出する方向で意見がまとまりました。また追加項目を要する再発部分は少なくとも共同で解析しようという方向で話が進み、下記の形で再構成して概要書を提出し直すことになりました。

こうした背景には CMLの特殊性、すなわち長期にわたる移植前観察期間(小児期発症でも成人で移植など)、移植後のレスキュー(TKIやDCI等による)が長期にわたり可能な状況があり、データとしては共有して検討しながら論文化した方がより Productive ではないかという考えからです。

1)一度提出した成人・小児 WG からの概要書を一旦取り下げ、新たに、成人・小児 WG のメンバー連名で、包括的研究の概要書を提出する。

2)20 歳以上のソース別のサブ解析を成人 WG で担当

3)成人・小児を対象とした移植後再発の解析を小児 WG で担当

4)これら以外は、共同で議論し必要に応じて小児・成人部分を切り分ける。